

介護に関する入門的研修を活用した 地域で取り組む介護人材育成

三芳町 × 美咲会 の実践事例



入門的研修の概要

目 的

介護に関心を持つ介護未経験者に対して、介護の業務に携わる上での不安を払拭するため、基本的な知識を研修することにより、介護分野への参入を促進する。

実施主体

入門的研修の実施主体は、都道府県及び市区町村。（民間団体への委託も可）
実施主体は、研修修了者に対して、修了証明書を発行する。

実施例①：1日で実施する場合

- ✓ 介護に関する基礎講座として、介護に関する基礎知識（1.5時間）と介護の基本（1.5時間）のみを実施

実施例②：3日程度で実施する場合

- ✓ 1日7時間で研修を実施

日数	項目	時間
1日目	・介護に関する基礎知識	1.5時間
	・介護の基本	1.5時間
	・認知症の理解	4時間
2日目	・基本的な介護の方法	7時間
3日目	・基本的な介護の方法	3時間
	・障害の理解	2時間
	・介護における安全確保	2時間
合計		21時間

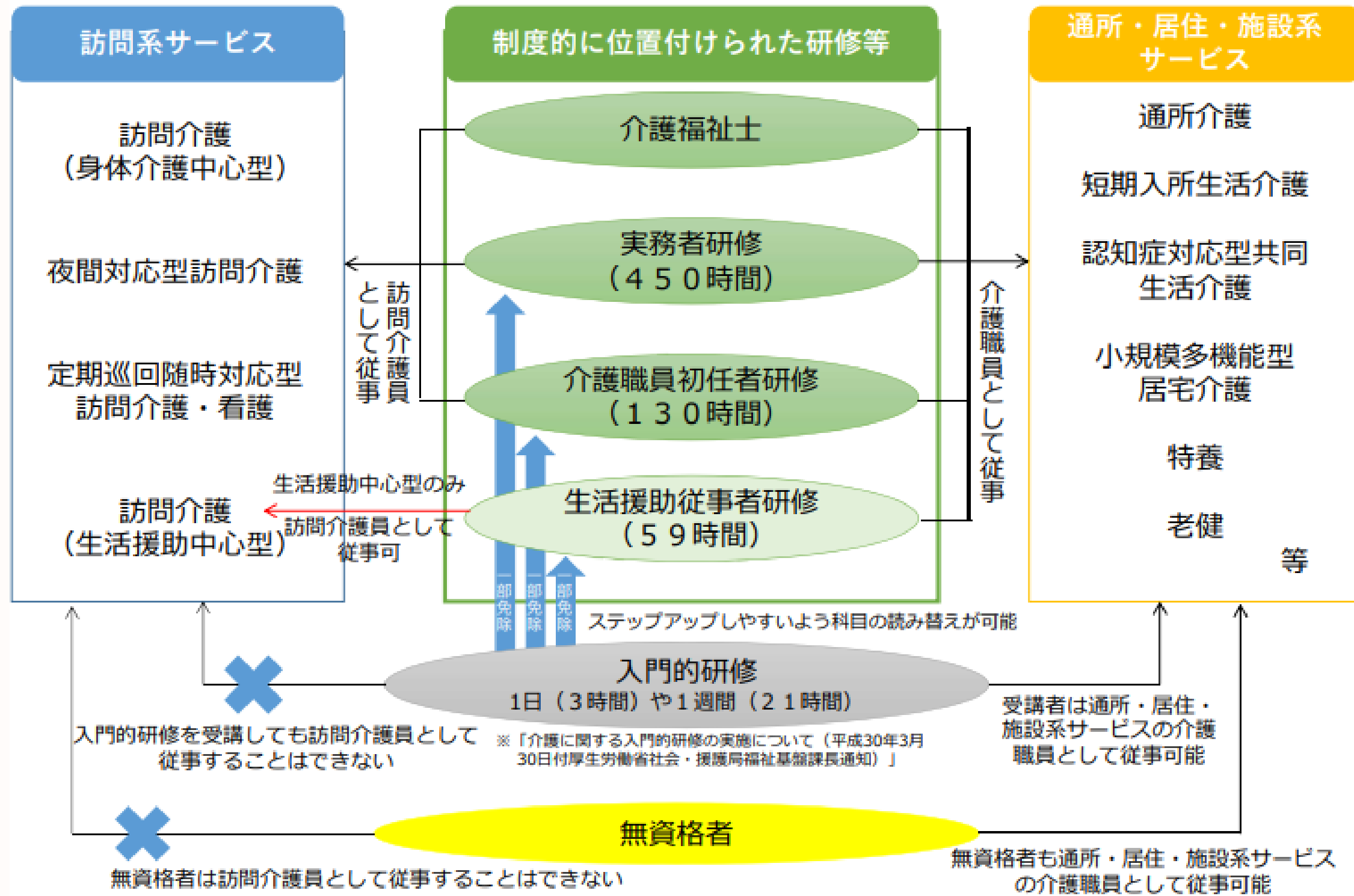
実施例③：6日程度で実施する場合

- ✓ 1日3～4時間で研修を実施

日数	項目	時間
1日目	・介護に関する基礎知識	1.5時間
	・介護の基本	1.5時間
2日目	・基本的な介護の方法	3時間
3日目	・基本的な介護の方法	3時間
4日目	・基本的な介護の方法	4時間
5日目	・認知症の理解	4時間
6日目	・障害の理解	2時間
	・介護における安全確保	2時間
合計		21時間

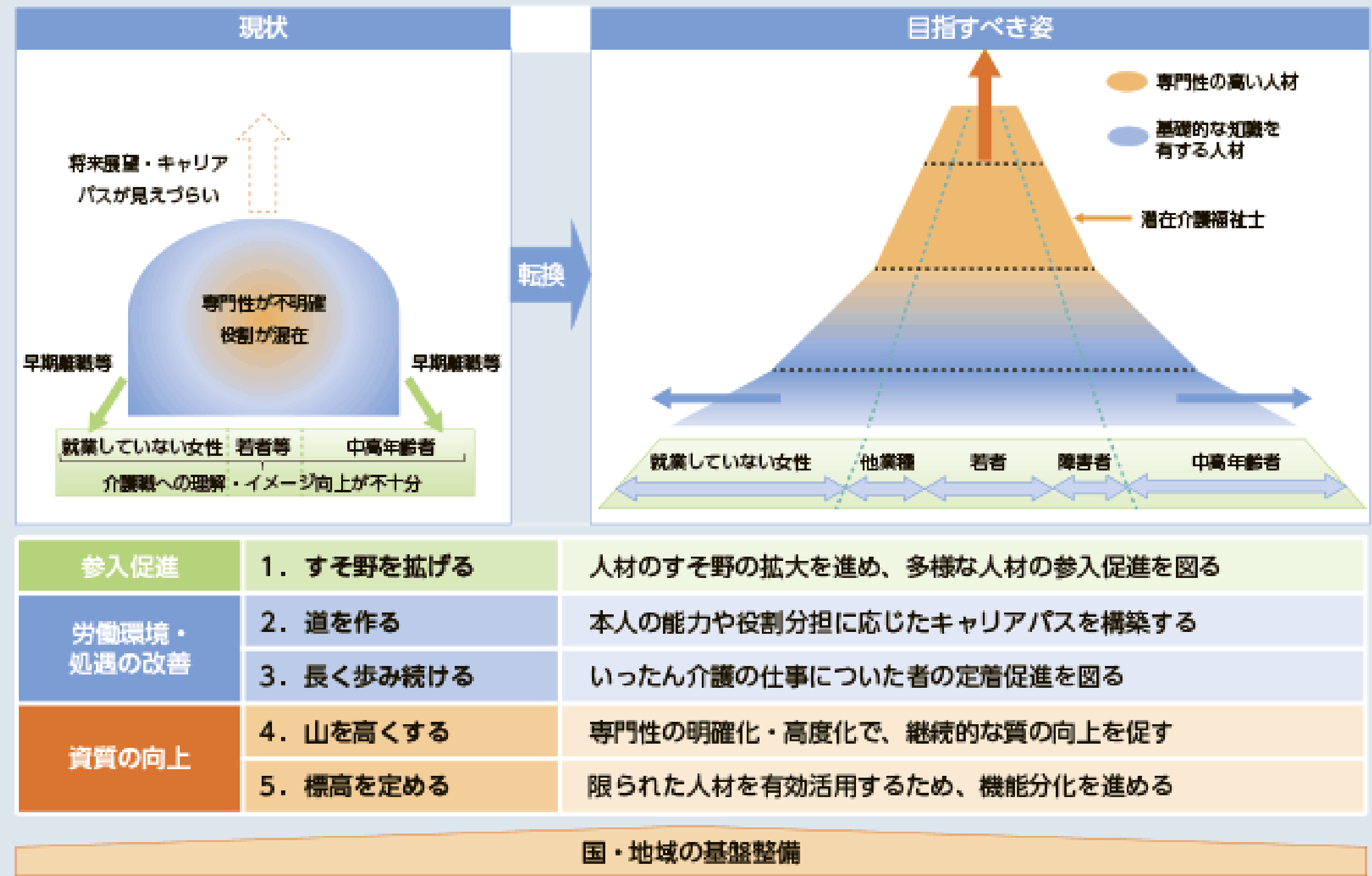
入門的研修の概要
／厚生労働省
<https://www.mhlw.go.jp/content/12000000/000465981.pdf>

入門的研修と各種研修等との関係



入門的研修の概要
／厚生労働省
<https://www.mhlw.go.jp/content/12000000/000465981.pdf>

図表 4-3-30 介護人材確保の目指す姿～「まんじゅう型」から「富士山型」へ～



令和6年度介護に関する入門的研修実施状況

(国通知に基づく研修)

埼玉県内の実施率32.8%

21/64市町村(埼玉県含む)

埼玉県及び県内21市町村で実施

さいたま市	川越市	川口市	行田市	所沢市	加須市
本庄市	上尾市	朝霞市	志木市	和光市	新座市
桶川市	久喜市	富士見市	三郷市	ふじみ野市	三芳町
川島町	上里町	松伏町			

地域の介護人材不足という共通課題への新たなアプローチ



介護は地域性の高い職業

「地域の高齢者を地域の人を支える」構造



市町村が実施主体

地域の実情に応じて入門的研修をデザインする



社会福祉法人の使命

人手・物価の逆風でも、地域課題に関与する使命



職員の活躍を考える

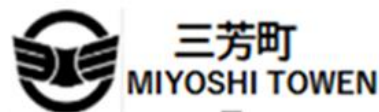
「教えることで自らが学ぶ」という職員教育の考え方

自法人の利益を超えて地域の大義で考える機会が大切。

「オール三芳町モデル」による地域人材育成スキーム

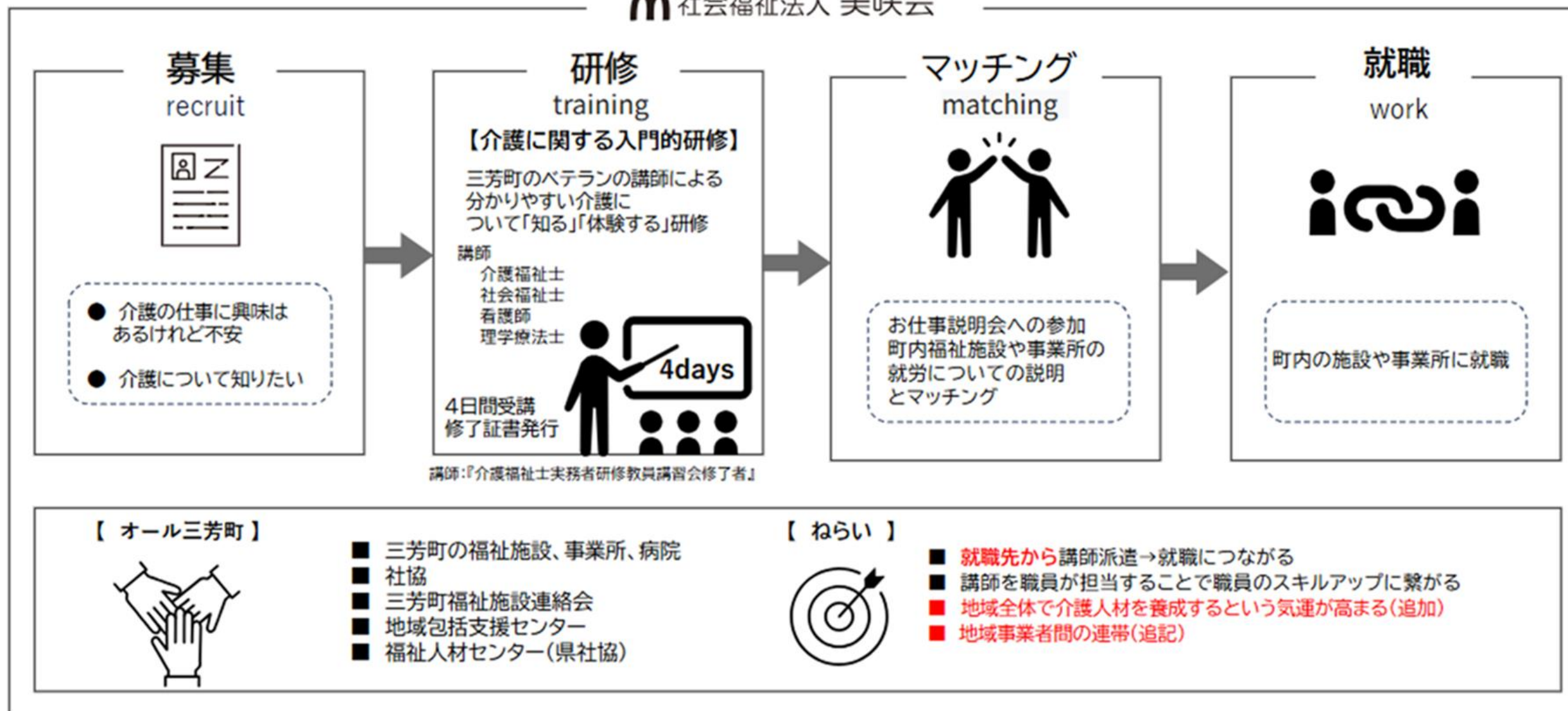
【 オール三芳町モデル 】 — みんなで地域の人材育成 —

介護に関する入門的研修のスキーム図



委託事業

社会福祉法人 美咲会





介護人材採用 に向けた事例集

介護の入門的研修から入職までの
一体的支援（入門的研修・職場体験・マッチング等）モデル

コラム④ 地域の介護関係者と一緒に取り組む入門的研修 ～美咲会の例～

入門的研修をきっかけとして入職につなげるためには、地域の事業者や福祉人材センターなど、関係機関との連携が重要です。本コラムでは、埼玉県三芳町で地域の事業所等を巻き込みながら入門的研修に取り組む社会福祉法人美咲会の事例を紹介します。

社会福祉法人美咲会では「オール三芳町で取り組む」ことを目的とし、以下の2点について地域の事業所等を巻き込んで事業を実施しています。

①三芳町内の介護施設・事業所が研修講師を担当

美咲会は町内の介護施設・事業所に、入門的研修の各科目の講師を担ってもらうよう声をかけました。こうしたつながりを通じて、地域全体で介護人材を養成するという気運の高まりと、地域事業者の連帯を狙ったのでした。

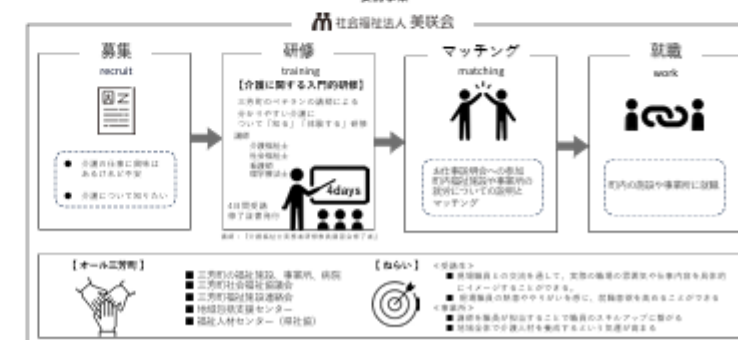
また、講師を担う介護人材にとっては、**受講者に教えることを通じて、それぞれの職員の学び・スキルアップにもつながり**、各事業者にとっても人材育成につながる取り組みになりました。

②町内の事業者が参加する就職相談会を実施

研修カリキュラム内では、事業者と参加者のマッチングの場として就職相談会（通称：お仕事説明会）を設けています。講師の所属施設・事業所を含め町内の多くの事業者が参加しており、研修と就職相談を一体的に構成することで、採用率の向上を狙うと同時に、ここでも地域全体で人材を採用するという雰囲気を醸成しています。

三芳町における『介護に関する入門的研修』全体スキーム

【オール三芳町モデル】— みんなで地域の人材育成 —
介護に関する入門的研修のスキーム図



（出典：社会福祉法人美咲会作成）





募 集

三芳町委託事業 **令和7年度**

介護の仕事に興味のある方
未経験者歓迎
受講費無料
定員15名
介護について学びたい方
4日間すべて受講された方には修了証書を発行します

介護に関する入門的研修のご案内

(基礎講座及び入門講座)

介護の仕事に興味のある方・介護経験のない方等を対象に、短時間で介護に関する基本的な基礎的知識や技術が学べる研修です。

研修終了後(4日目)に介護事業所との就職相談会を行います!
介護事業所の職員が介護技術をレクチャーします!

対象者 三芳町在住の方、4日間参加できる方で三芳町内の事業所で就労希望のある方、介護に関心のある方

日程 令和7年 9月24日(水) 8:50~15:20
令和7年10月 1日(水) 8:50~17:20
令和7年10月 8日(水) 8:50~16:10
令和7年10月15日(水) 8:50~16:10
詳細は裏面をご覧ください

お申込 予約制(先着順)になります。
下記のQRコードよりご入力下さい。電話やFAXでも受付いたします。

お問合せ 締切:9月12日(金)17:00まで
受講の可否については9月16日(火)に連絡させていただきます。
ご不明な点はセンターまでお問合せ下さい。

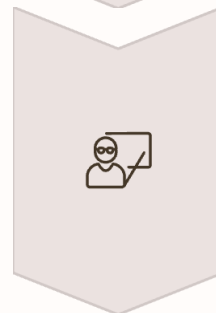
お申込みフォーム  

《三芳町認知症サポートセンター》
〒354-0041 三芳町藤久保27-9
Tel:049-259-2525 Fax:049-274-3366
Mail:orange@miyoshitown.com 担当:窪田、佐藤、井澤



募集

町と参画法人で一斉周知。申込導線を簡潔に設計します。



講師

例えば、地域包括支援センターは「介護保険」、障害者支援施設は「障害」を、グループホームは「認知症」の科目を担当

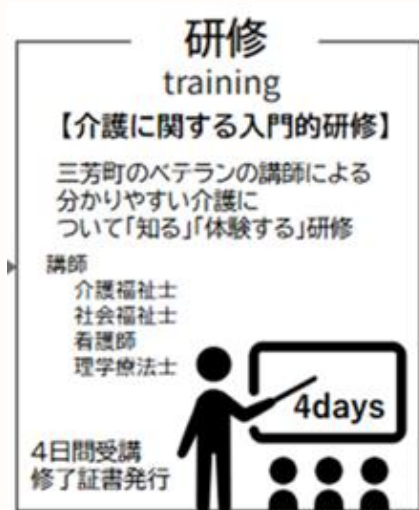
***それぞれの得意を活かす！**



理解の深化

受講者は複数法人の"生の話"に触れ、現実感のある理解を得ます。

三芳町の介護に関する入門的研修のコンセプト
学ぶではなく『知る』
覚えるではなく『体験する』



研修（座学）

講師は年度ごとに依頼！ 今年度は【11法人】が参画！

*それぞれの得意を活かす！



科目 / 「介護保険の理解」
講師 / 地域包括支援センターの職員



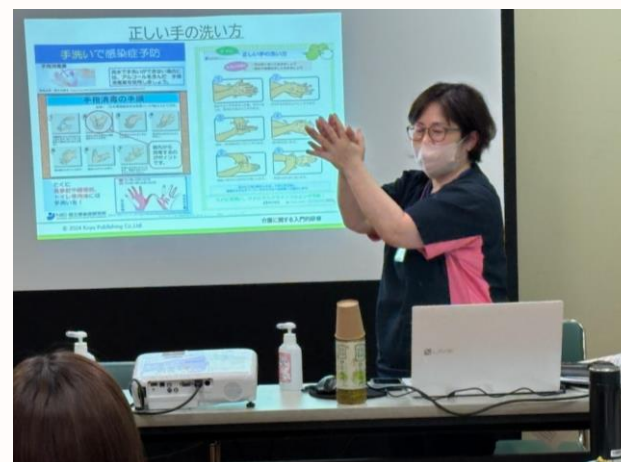
科目 / 「障害の理解」
講師 / 障害者支援施設の介護職員



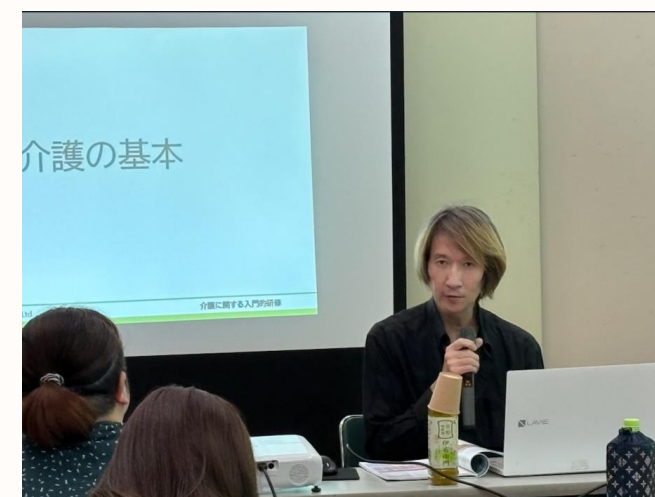
科目 / 「基本的な介護の方法（生活支援技術）」
講師 / 特別養護老人ホーム介護職員



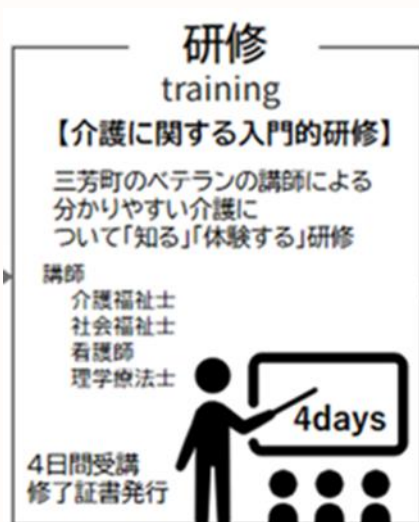
科目 / 「認知症の理解」
講師 / 認知症対応型通所介護の職員



科目 / 「介護における安全確保」
講師 / 老人保健施設の看護師



科目 / 「介護の基本（自立にむけた介護方法）」
講師 / 老人保健施設の理学療法士



研修（実技）

体験することの価値、実技は人気
トロミ食の試食と介助、車いす体験



充実した福祉用具



様々な実技体験を可能とする広い会場



トロミ食の試食と食事介助体験



環境整備におけるシーツ交換体験



中庭を活用した車いす体験



マッチング

最終日に合同説明会

その場で見学・面談へ直結

- 仕事内容を詳しく聞いた後、すぐに職場見学や面談に接続可能です。
- 就職決定に直結する仕組みで、参加者の就職活動をスムーズに後押しします。

埼玉県社協福祉人材センターの協力

- 県の介護職員支援について福祉人材センター職員が直接説明。
- 地域の支援体制や最新の介護人材施策を知ることができます。

顔の見える関係づくり

- 講師を務めた職員が説明する事業所もあり、受講生は安心して相談可能。
- 参加者と事業所の距離が近く、信頼関係を築きやすい環境です。

募集から研修、就職まで一気通貫の設計

- 研修で学んだ流れのまま、途切れなく就職活動へ移行できます。
- 研修から就職までスムーズに進むため、安心してキャリアを築けます。





就職

就職状況には大きく二つの傾向

○施設側でケアアシスタントや介護助手のポジションを設けている場合

- ・施設側でシーツ交換や清掃など補助的なポジションを設けている場合、介護未経験でも、最初の一步が踏み出しやすく就職につながりやすい。

***多くの施設において夜勤や早番・遅番、トランスファー、入浴介助などの本格的な介護業務が求められるため、修了者との間にミスマッチが生じ、就職に至らないケースもある。**

○入門的研修修了後に初任者研修を受講し、その後に就職へ進むケース

- ・入門的研修終了後、介護職員初任者研修を受講するなどして、更に専門知識を高めた後に就職活動をする。

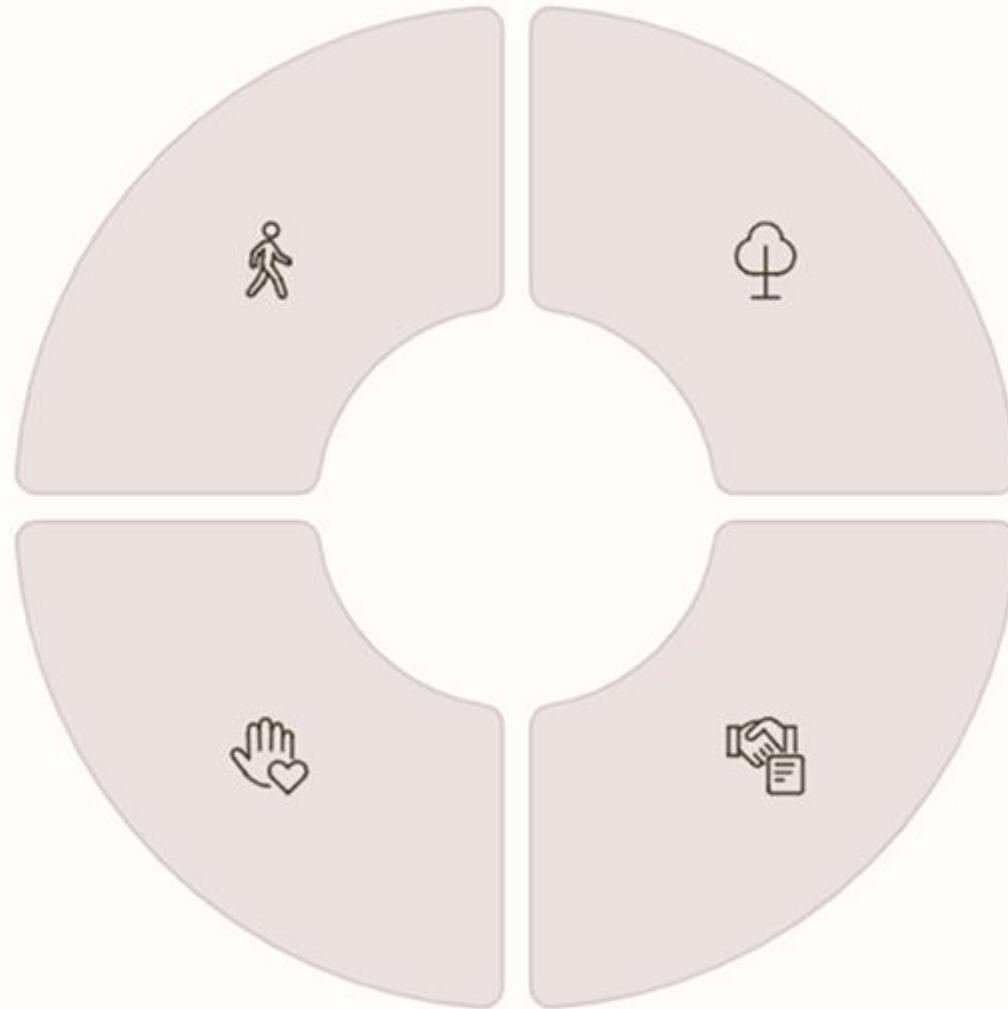
介護に関する入門的研修のそれぞれの価値

住民

地域に根ざした学びの場で、介護の基礎を身につけ、身近な場所で活躍できる機会を提供します。

地域

日頃からの協力体制が、緊急時の迅速な対応と相互支援を可能にする強固な基盤となります。



法人

新たな人材の確保と同時に、教える立場を経験することで既存職員のスキルアップも実現します。

行政

施策が地域内で循環し、「顔の見える関係」が平時から形成される



地域の人材は地域で育てる